

自分の金では酒は飲まん

掃除済めば、解散。

衣笠中学校の方へ、鈴木や一宮さん達と歩いてゆく。

コンパで会費はただ。

先輩や先生のおごりだったとはうれしい。

好き焼きである。

昼めしを兼ねている。

肉がたっぷりある。

ガッポリ食べる。

酒もつがれて飲んだ。

食べ終わると、先輩が、将棋を出して来て、駒をガタガタ鳴らして並べ出した。

見ている、あまり強そうでない。

何と将棋の弱い先輩ばかりなんだろう。僕もやったら、勝ってばかり。

それも、当然だ、皆、酒が入っている。

夢見る心地で気持ち良く将棋をしている。

負けても、誰も気にしない、気にしない。

勝負は、必ず、どちらかが勝ち、半分は負ける人がいて当たり前。